

2021 年度第 3 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学教育研究審議会議事録

日 時 2021 年 10 月 22 日（金）15:30～15:55

場 所 遠隔会議（Zoom 使用）

出席者 小越議長、松江委員、大島委員、木村委員、市川委員、松岡委員、加藤委員、
吉本委員、酒井委員、井中委員、小口委員
（牛山事務部長、濱財務課長、伊藤教務・学生支援課係長）

欠席者 なし

[配付資料]

1. 公立大学法人公立諏訪東京理科大学 令和 2 年度業務実績に関する評価書（資料 1-1）
2. 「令和 2 年度業務実績に関する評価書」を受けて（資料 1-2）
3. SDGs 達成に向けた宣言書（資料 2）

[前回議事録確認]

前回議事録について、議長、松江委員、大島委員により内容を確認したことの報告があった。

[議 事]

1. 議長・学長挨拶

小越学長から、審議に先立ち挨拶があった。

2. 会議内容

(1) 令和 2 年度業務実績に関する評価書について（諏訪広域公立大学事務組合）、業務実績に関する評価書の年度計画への反映について

牛山事務部長から資料 1-1 をもとに、令和 2 年度の業務実績について、諏訪広域公立大学事務組合公立大学法人評価委員会において、新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流や地域連携等一部項目は「中期計画の進捗はやや遅れている」と評価されたものの、全体評価は「中期計画の進捗は順調」とされたことが報告された。また、資料 1-2 をもとに、評価書で指摘された事項を年度計画に反映したこと及びその具体的な内容について報告された。

(2) 長野県版 SDGs 登録について

加藤委員から資料 2 をもとに、本学が長野県 SDGs 推進企業として登録されたこと及び SDGs 達成に向けた指標として地域連携研究開発機構での研究開発件数、女性教員・外国人教員の割合、DX による業務改善等を掲げたことについて報告された。

(3) 現在の本学の新型コロナウイルス感染症対策の状況について

加藤委員から本学の後期授業について、8割程度を対面実施しているが、授業の特性上感染リスクが高いと考えられる実験授業については11月中旬まで遠隔実施で対応していること、教室の換気促進のためサーキュレーターを新規導入したこと、学生食堂の座席の利用制限を強化するとともに弁当を提供することにより食堂以外での食事を促し密集を防ぐ対策をしていること、また、ワクチン接種については本学が茅野市及び茅野商工会議所と共同実施している職域接種及び自治体等での接種により、学生の8割程度が11月上旬までに2回目の接種を終了する見込みであること等が報告された。

(4) その他

小越議長より、教育研究活動のさらなる活性化及び地域課題の解決に向けた研究開発活動のさらなる強化等を目指してローカル5G環境の整備を進めており、2022年4月からの稼働を目指していること、これによりデジタル人材の育成をさらに推進するとともに、地域にもローカル5G環境を提供することにより地域産業への技術貢献を推進していくこと等について報告があった。

最後に、次回の教育研究審議会は2月18日(金)に実施を予定していることが確認され、今回の議事録確認者として酒井委員、木村委員の2名を小越議長が指名した。

以上